



Zikomo kwambiri!

ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ



Teachers' day のお祝いをしました!

Muli bwanji (ムリ ブワンジ)? 10月5日はワールドティーチャーズデーということで、この日は学校は休校で、ルサカ中の学校の先生たちが一同に集まりお祝いがありました。まず、お揃いのシャツを着て学校に集合し、そこからバスで移動して街の中心地をマーチング!道路は片側が通行止めになっていて、イベント会場までの道を歌いながら歩きました。イベント会場に着くと、着いた順に学校名がアナウンスされます。全ての学校が入場し終わると、歌やダンスのパフォーマンス、また優秀な先生の表彰がありました。その後は各学校で集まりパーティー!とこんな感じで一日中話して、歌って、踊って、ザンビアの先生たちのパワーを感じました。普段は教室で担当クラスに付きっきりなので、色々な先生と話せる良い機会になりました。

そして、任地の先生方に Chimwemwe (チムウエムウエ:happiness) というザンビアンネームをもらいました。「いつもニコニコしていてエリカはハッピーパーソンだから」だそうで、周りの人からそういった印象を持たれること、そしてこんなに素敵な名前を付けてくれたことにすごく嬉しい気持ちでいっぱいです。名前に負けなよう、ハッピーオーラ全開でこれからも活動していきたいです!



ザンビアの学校ってどんな感じ?~特別支援学校編~

特別支援学校には学習障がい、知的障がい、自閉症スペクトラム、脳性麻痺、聴覚障害等を持つ児童・生徒が通っています。クラスは、reception special, level 1~3, grade 5,7 special, Skills と聴覚障害クラスの 8 クラスあります。年齢や特性等は関係なく(聴覚障害は除く)、子どもたちはみんな reception からスタートして、できることが増えていくと進級できるようです。そのため人数や年齢はクラスによってまちまちですし、level 1 に行けなくて、5年間ずっと reception にいるという子もいるのが現状です。1 クラス大体10~20名前後が在籍し、1~2名の教員で担当しています。人数が一番多いクラスが reception で、現在なんと24人の子どもたちが在籍しています!また、grade 7 special に先日 23 歳になったよと言っている子もいました!特別支援学校は全クラス午前の部で、始業時間も 8 時とゆとりをもたせています。また放課後には手作りシマが提供されます。子どもたちもシマが大好き!



シマを食べる子どもたち!

特別支援学校に入学する経緯はそれぞれですが、一般的なプロセスは、他の学校に通っていて授業についていけなかったり、人間関係でのトラブルが多かったりすることから、「この子には何か問題があるかもしれない」ということで支援学校を勧められ入学する、という流れのようです。各学期の1~3 週目は登録期間になっていて、年度の途中ではありますが、複数の新しい児童が学校の仲間入りをしています。

このように、ザンビアの教育システムには日本との違いがたくさん!しかし先生たちは学校を第二の家と考えていて、子どもたち一人一人に毎朝あいさつとハグやハイタッチをしています。子どもたちへの愛情には国や文化の違いは関係ないですね!